

救急医療に正しい理解を



9月9日は「救急の日」、9月8日～14日は救急医療週間です。安心・安全な生活を支える上で欠かせない「救急医療」について、一緒に考えましょう。
問 地域医療推進課(☎025-212-8018)、消防局救急課(☎025-288-3260)

救急車の適正な利用を

救急医療の現状

救急医療の現場では、患者の増加や安易な救急車の利用などが課題となっています。本市の救急搬送者数は年々増加しており＝右グラフ＝、昨年は年間34,897人、1日平均96人が搬送されています。そのうちの約3割の人が軽症で、入院することなく帰路に就いています。



救急車の適正な利用を

救急車の台数には限りがあるため、緊急性のない安易な利用が増えると本当に必要な人が救急車を利用できなくなり、救えるはずの命を救えなくなる可能性があります。



救急車はみんなのものです。疾病の程度に応じた適正な医療機関の受診に、ご協力をお願いします。

必要なときには迷わず119番を

救急車の出動件数は増えていますが、急な胸痛、息苦しさや手足のまひがあるとき、車にはね飛ばされた人を見たときなど、**本当に必要なときは迷わず119番に通報**してください。呼吸がない場合は通報のほかAEDを利用するなど、早い心肺蘇生法の実施が大切な命をつなぎます。



消防局指令課 坂西

救急医療について学ぼう

「救急の日」2019

心肺蘇生法やAEDの使い方の体験、救急車の展示、消防音楽隊によるミニコンサートなどを行います。

●日時・場所

9月7日(土)10時～13時・イオン新潟東店(東区大形本町3)
 9月8日(日)10時～15時・イオンモール新潟南(江南区下早通柳田1)

●料金 無料

問 消防局救急課(☎025-288-3260)



AEDの使い方

救急医療市民フォーラム2019

「大切な人がもしものとき、あなたはどのようにしますか？」

救急医療に焦点を当てた寸劇や保健・医療・介護の現場で働く人の立場で語るパネルディスカッションなどを行います。

※にいがた未来ポイント♣️該当事業

●日時 9月14日(土)14時～16時

●定員 先着300人

●場所 市民プラザ(NEXT21・6階)

●料金 無料

申 8月24日(土)から電話で市役所コールセンター(☎025-243-4894)

問 地域医療推進課(☎025-212-8018)

医療機関を受診するときの心得

救急医療を守るため、日頃から適正受診を心掛けましょう。

- ☑️かかりつけ医を持ちましょう
- ☑️できるだけ昼間の診療時間内に受診しましょう
- ☑️休日・夜間は急患センターなどを利用しましょう

市急患診療センター(中央区紫竹山3)

☎025-246-1199

西蒲原地区休日夜間急患センター(西蒲区巻甲)

☎0256-72-5499



スマートフォンはこちらから

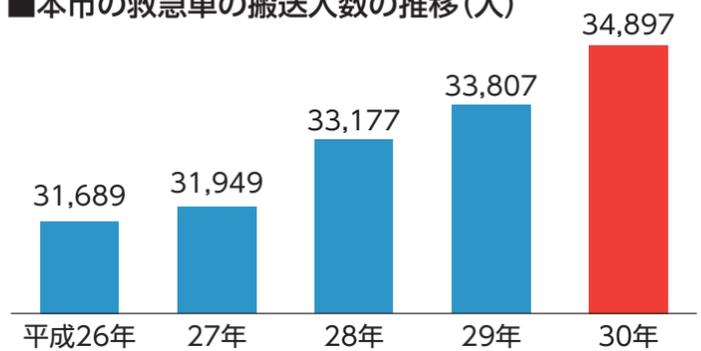
- ☑️夜間、対処に迷ったときは電話で相談しましょう

救急医療電話相談(19時～翌8時)

15歳以上の相談 #7119または☎025-284-7119

14歳以下の相談 #8000または☎025-288-2525

■本市の救急車の搬送人数の推移(人)



ファックス・メールで119番通報を受け付けます

☑️聴覚や言語障がいのある人

ファックス 事前の申請は不要です。用紙に下の囲みの①～④の内容を記載し、ファックス機から119番をダイヤルしてください。

- ①種別(火災、救急、救助) ②出動先の住所 ③状況
- ④通報者の住所・氏名・年齢・性別・ファックス番号

メール 事前登録の申請が必要です。詳しくは問い合わせてください。

問 消防局指令課(☎025-288-3270、メールshirei.fb@city.niigata.lg.jp)